

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp

共に生きる障がい者問題委員会シリーズセミナー

わかる・つながる障がい者雇用

第一回／2022.10.21 第二回／2022.11.4 第三回／2022.11.18

感想文

『障がい者雇用』

今まで「障がい者雇用」という言葉を聞いたことはあったものの、何か特別なことのように感じており、自社とは無縁のことだと思っていました。

しかし今回のセミナーに参加してみて、ひとくちに「障がい」と言っても、障がいの種類や程度にも様々あること。障がい者雇用に関する様々な制度を県や国で整備していることや、障がい者雇用をサポートしていただける企業があること等知ることができました。

自社においても、伝票をパソコンで打ち込む作業など社員それぞれの業務の中から障がい者の方にお任せできる仕事があるように思います。

今後、働き手を確保することが難しくなっていく中で、「障がい者雇用」を前向きに検討する良い機会となりました。

ありがとうございました。

記/(株)マスダ 吉田 力也 氏

今回のセミナーは、疑似体験と事例を基にどのように取り組んでいけば良いのかを考えさせられる内容だった。セミナーの内容から、雇用のメリットについては、おおよそ次のことが挙げられる。

- ・業務を見直すことで、最適且つ効率化を図るきっかけになる
- ・生産性の工場と戦力の増強
- ・企業としての価値創出に繋がり、多様性のある企業文化と組織作りができる

しかし、実際はその段階に進めるためのプロセスが必要になる（雇用する側からすると、デメリットの部分）。これは、障がいに対する情報と理解不足からくるものと考えられる。関係機関等の支援体制もあるが、根本的に担当者の知識と理解、マネジメント能力が問われる部分が大きいことも確かである。だからこそ「一般企業」と「福祉施設」が連携していく必要があり、経営者の想いだけでなく、「雇用」を通した「共育」として、それを社員含め関係者に伝え続けることが重要なことになるだろう。

企業の方針の明確化や体制構築含め、問題点や課題を乗り越えていくために、今後も「委員会」として講習の開催や相談機能の強化が求められると実感した。

記/東管工業(株) 蛸沢 孝行 氏

女性部会 全県見学例会

丸喜阿保商店とわたし。
～気づいた想い、ひとつの想い～



◆報告者◆

(有)丸喜 阿保商店

阿保 泰子 氏

(青森支部)

(2022/11/14)

★★★ 感想文 ★★★

11 月中旬、青森同友会女性部の報告会に参加しました。

今回の報告者は有限会社丸喜阿保商店の社長夫人で総務主任の阿保泰子氏。1955 年に阿保社長のお祖父さんが立ち上げた海苔などの業務用食品を扱う会社さんです。人前で話すことが大の苦手とのことで緊張しながらの報告です。

印象的だったのは、夫が会社の運営等で悩み、それについてアドバイスしたつもりでいたけれど、それは自分の思い違いだったとのこと。聞く力、経営に携わる人としての実力、話すプロセスなど諸々の実力が備わっていないとアドバイスは出来ない事を実感したとのこと。

今回、青森市郊外に新設した店舗と社屋はお買い物が楽しくなるような品揃えです。ここから商品だけでなく諸々の情報を発信したいとのこととても楽しみです。

記/(有)トランスクリタ 取締役社長 栗田 岬知 氏



↓ 10/20 上十三支部例会 参加者 29 名



↓ 11/16 下北支部例会 参加者 27 名



↓ 11/21 上十三支部例会 参加者 16 名



↓ 11/24 青森支部例会 参加者 28 名



八戸支部例会

人生をあきらめない
希望を提供するために

～経営理念と事業展開～



◆報告者◆

(株)ロッシュ

代表取締役 岩館 裕美 氏

(八戸支部)

(2022/11/22 参加 24 名)

★★★ 感想文 ★★★

今回、報告して下さった岩館さんはリハビリ特化型のデイサービスに加え、ドライヘッドスパ、県内初の試みであるという買い物リハビリ型のデイサービスの事業も展開されています。

元々は建設業界で仕事をしていたという岩館さんがある医師との出会いから、福祉の分野に方向転換していく話は同年代・同職種として、とても興味深い内容でした。

報告を聞いて、当たり前のことですが、自分の想いや理念は伝えなければ伝わらないということを再確認しました。そして、想いを共有していくためには、顧客も従業員も同じ『人』として大切にすることが重要であることも改めて学ぶことができました。

私自身にとって今回の報告は原点に立ち返ることができたとても貴重な機会となりました。ありがとうございました。

記/(同)ゆめぷらす 代表社員 岩藤 裕樹 氏



上十三支部例会

優れた食材は 探すのではなく
守っていかなければならない



◆報告者◆

(株)LOCO・SIKI

代表取締役 芝崎 壽一郎 氏
(上十三支部)

(2022/12/16 参加 23 名)

★★★ 感想文 ★★★

今回の上十三支部望年例会では(株)LOCO・SIKIの代表取締役 芝崎 壽一郎様の報告で、兵庫県から青森県十和田市へ青森県の食材のほれ込み移住し、そしてまたその食材を生かすために開発から加工・調理・販売までを一貫して行う同社の取組について話を聞くことが出来ました。

独自の冷凍技術を使い、あらゆる食材や加工品を新鮮な状態で冷凍することで、これまで行われてきた食品の廃棄やロスが解消されたり、新たな販路拡大が実現できることを非常に興味深く話を聞かせて頂きました。特に、様々な企業とタイアップを行い様々な冷凍商品を作り上げている話では、当社と現在取引しているお客様へも有益な情報として提供できると思い、今後の営業活動でも提供していきたいと感じました。

また、望年会としてTHE・GRILLの料理を頂きましたが、すべての料理が冷凍技術を活用したものだとの説明を受けてから頂きましたが、全く冷凍食品であるとは感じられない素晴らしい料理でした。

最後に、私も八戸から十和田へ転勤となり、上十三支部の例会参加もまだ2回目と浅い為、早く皆さんと馴染める様、積極的に参加していきたいと思しますので宜しくお願いします。

記/(株)トヨタレンタリース青森 店長 藤田 修士 氏



↓ 11/29 津軽支部例会 参加者 6 名



↓ 12/2 八戸支部例会 参加者 28 名



↓ 12/9 青年部例会 参加者 7 名



↓ 12/15 青森支部例会 参加者 29 名



↓ 12/20 下北支部例会 参加者 19 名



11 月理事会報告 於:事務局 2022.11.2(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会新年度(2022 年度)重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020~2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について

①11 月の各支部予定

②第 39 回中同協役員研修会

③第 53 回中小企業問題全国研究集会 in 長野

- 支部長会議について

- 第 19 期経営指針を創る会の状況について

- 障害者問題全国交流会(2025)について

3)審議・確認事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について

- 第 21 回経営研究集会について

- 2023 新春例会 in 津軽について

- 青森同友会役員研修会について

- 年度会勢目標に向けての取り組みについて

- 各支部、委員会からの報告

会員数 405 名／入会 2 社 退会 3 社

12 月理事会報告 於:事務局 2022.12.2(金)

1)年度方針の確認

- 青森同友会新年度(2022 年度)重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020~2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について

①12 月の各支部予定

②岩手同友会 30 周年記念行事

③第 53 回中小企業問題全国研究集会 in 長野

- 支部長会議について

- 経営指針委員会の動きについて

3)審議・確認事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について

- 2023 新春例会 in 津軽について

- 第 26 回定時総会について

- 青森同友会役員研修会について

- 年度会勢目標に向けての取り組みについて

- 各支部、委員会からの報告

会員数 404 名／入会 1 社 退会 2 社

【次回開催日】2023 年 1 月 11 日(水) 13:30~/事務局